



土馬



どば 土馬は長岡京という都のみならず、全国各地でもお祭りの道具として作られていました。

滋賀県栗東市の^{りつとう}下鉤東・^{しもがりはがし}蜂屋遺跡では、^{はちや}8世紀代の^{あまご}雨乞いの祭りで使用されたと考えられている土馬が出土しています。全長は17cm程で、馬具を表現した写実的な作りになっています。お祭りごとに一つ一つ、個性の強い土馬が作られていたようです。

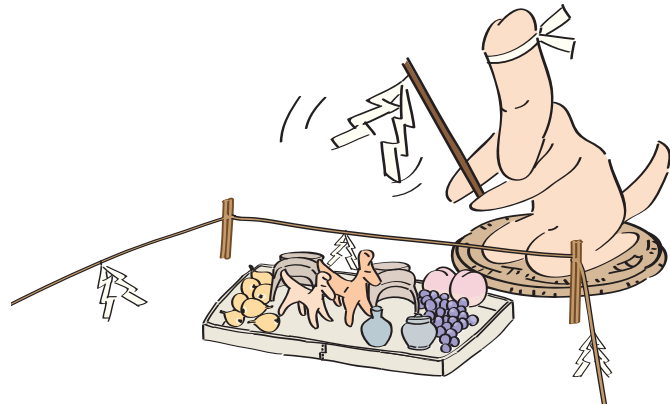
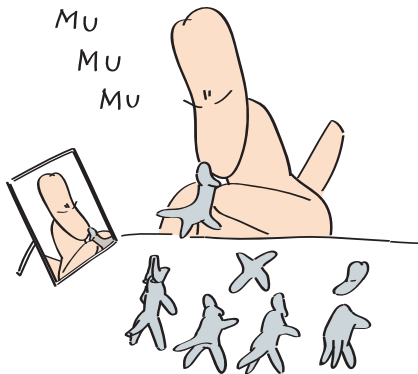


▲滋賀県栗東市の下鉤東・蜂屋遺跡で見つかった土馬



▲長岡京跡から見つかった土馬

それに対して、長岡京跡から出土する土馬は馬具を表現しない、とてもスマートに作られたものばかりです。土馬を使ったお祭りが一般の人々にも浸透し、都の各所で行われるようになると、大量生産に適した無駄のない簡素なスタイルになったようですね。



長岡京市埋蔵文化財センター設立 40 周年記念事業・2022 缶バッジプレゼント企画

